

CITIZEN

2025年度（2026年3月期）
通期決算説明会

シチズン時計株式会社
2026年5月13日

2025年度 通期業績概要	連結業績概要 5
	セグメント別業績概要 6
第4四半期（1-3月）業績概要	連結業績概要 9
	セグメント別業績概要 10
2026年度 通期業績予想	連結業績予想 19
	セグメント別業績予想 20
「中期経営計画2027」進捗状況 21

広報IR担当の小林です。

2025年度通期決算の業績の概要を説明いたします。

2025年度 第4四半期 業績概要

【1-3月】増収増益

【2025年度 累計】増収増益

- 時計事業 北米を中心に“シチズン”と“プローバ”ブランドが共に好調
北米の主要流通の売上高の増加と自社ECの伸長などが寄与し、大幅増益
- 工作機械事業 自動車関連は勢いを欠くも医療関連が堅調かつ半導体関連が大きく伸長
海外市場の売上高の増加などにより、増益

2026年度 通期業績予想・配当予想

	2026年度 予想	前年同期比
・ 売上高	3,620億円	+4.4%
・ 営業利益	345億円	+14.0%
・ 営業利益率	9.5%	—

※ 2026年度年間の予想為替レート
1USD 150円
1EUR 175円

- 年間配当金50円（前期比3円増配）

3

こちらが今回の決算発表のポイントとなります。

2025年度の連結業績は、第4四半期の3カ月間および累計期間ともに、増収増益となりました。

また、2026年度の通期業績予想につきましては、前年同期比で増収増益としており、「中期経営計画2027」で掲げた目標を1年前倒しで達成する見込みとなっております。

年間配当金の予想につきましては、中期経営計画の方針に則り、前期比で3円増配とし、一株あたり50円といたしました。

2025年度通期業績概要

それでは、まず、2025年度通期の連結業績についてご説明いたします。

2025年度通期 増収増益

(単位：億円)	2024年度 通期実績	2025年度 通期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,168	3,468	+299	+9.4%
営業利益	205	302	+96	+46.9%
営業利益率	6.5%	8.7%	-	-
経常利益	230	384	+154	+67.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	238	311	+72	+30.3%
為替レート	¥153/USD ¥164/EUR	¥150/USD ¥174/EUR		

5

2025年度通期の連結業績の概要です。

売上高は、時計事業と工作機械事業が好調に推移し、3,468億円、前年比9.4%の増収となりました。

営業利益は、時計事業と工作機械事業の収益性改善が進んだことで、302億円、前年比46.9%の増益となりました。営業利益率は8.7%となりました。

経常利益は、為替差益の増加などにより、384億円と前年比67.0%増となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、過年度関税等及び過年度関税等引当金繰入額を計上した一方で、投資有価証券売却益の計上や繰延税金資産の回収可能性の見直しの影響等により、前年比30.3%増の311億円となり、過去最高を更新いたしました。

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2024年度 通期実績	2025年度 通期実績	前年同期比		セグメント	業績
			増減額	増減率		
時計事業	1,792	1,970	+178	+10.0%	■ 時計事業	【増収増益】
工作機械事業	743	862	+119	+16.1%	■ 工作機械事業	【増収増益】
デバイス事業	633	634	+1	+0.2%	■ デバイス事業	【増収増益】
合計	3,168	3,468	+299	+9.4%		
営業利益						
時計事業	181 (10.1%)	250 (12.7%)	+ 69	+38.1%		
工作機械事業	56 (7.6%)	77 (9.0%)	+ 20	+36.4%		
デバイス事業	29 (4.7%)	37 (5.9%)	+ 7	+26.9%		
消去又は全社	▲ 62	▲ 63	▲ 1	-		
合計	205 (6.5%)	302 (8.7%)	+ 96	+46.9%		

6

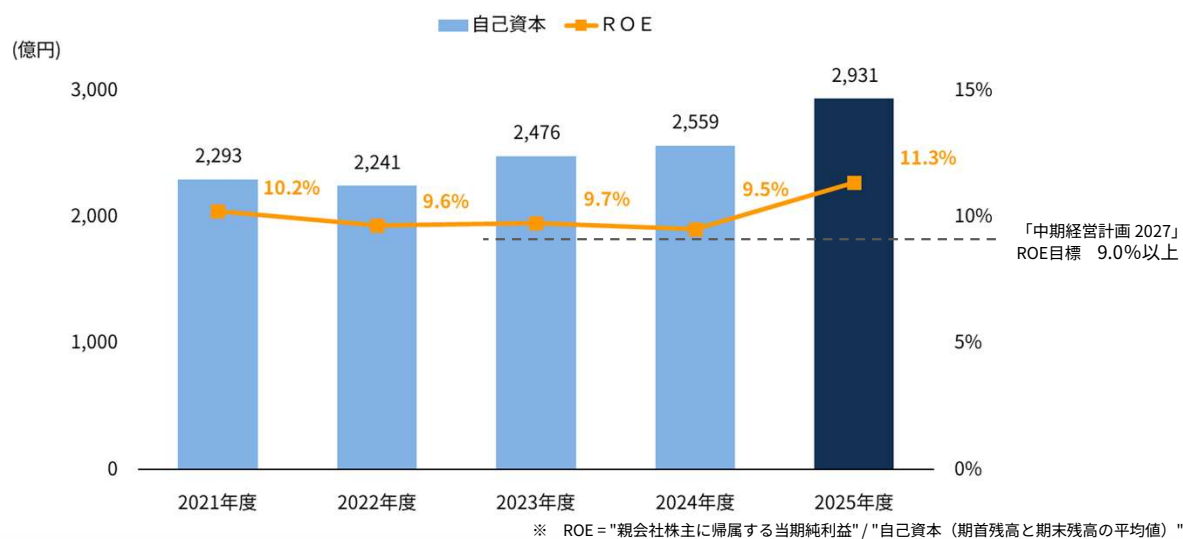
事業セグメント別の業績です。

時計事業は、欧米を中心に好調な販売が継続し、売上高は1,970億円、前年比10.0%の増収、営業利益は250億円、前年比38.1%の増益、営業利益率は12.7%となりました。

工作機械事業は、海外市場が増収となり、売上高862億円、前年比16.1%の増収、営業利益は77億円、前年比36.4%の増益となりました。

デバイス事業は、セラミックスとフォトプリンターが堅調に推移し、増収増益となりました。

- 各事業セグメントの収益性の向上等により、中期経営計画2027目標「ROE9.0%以上」を継続達成




7

次にROEです。

2025年度のROEは、各事業セグメントにおいて収益性の改善が進んだことで、11.3%となり、「中期経営計画2027」の目標値である9.0%以上を継続して達成しております。

2025年度第4四半期（1-3月期）業績概要



続いて、第4四半期、3か月間の連結業績についてご説明いたします。

第4四半期（1-3月）増収増益

(単位：億円)	2024年度	2025年度	前年同期比	
	4Q(1-3月)実績	4Q(1-3月)実績	増減額	増減率
売上高	751	897	+145	+19.3%
営業利益	15	63	+48	+308.9%
営業利益率	2.1%	7.1%	-	-
経常利益	10	80	+70	+677.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	88	+72	+431.9%
為替レート	¥154/USD ¥161/EUR	¥155/USD ¥184/EUR		

9

売上高は、時計、工作機械、デバイスの全事業セグメントが増収となり、連結で、897億円、前年比19.3%の増収となりました。

営業利益は、各セグメントにおいて収益性の改善が進んだことで、63億円と大幅増益となりました。営業利益率は7.1%となりました。

経常利益は、増収による押し上げ効果などもあり、80億円と増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、88億円と増益となりました。

2025年度第4四半期（1-3月）セグメント別業績概要

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2024年度	2025年度	前年同期比		セグメント	業績
	4Q(1-3月)実績	4Q(1-3月)実績	増減額	増減率		
時計事業	417	494	+77	+18.6%	■ 時計事業	【増収増益】
工作機械事業	183	240	+56	+31.0%	■ 工作機械事業	【増収増益】
デバイス事業	151	161	+10	+7.0%	■ デバイス事業	【増収増益】
合計	751	897	+145	+19.3%		
営業利益						
時計事業	21 (5.1%)	43 (8.8%)	+22	+104.7%		
工作機械事業	12 (6.9%)	25 (10.5%)	+12	+99.6%		
デバイス事業	▲1 (▲1.0%)	12 (7.6%)	+13	-		
消去又は全社	▲16	▲17	+0	-		
合計	15 (2.1%)	63 (7.1%)	+48	+308.9%		

10

次に事業セグメント別の業績です。

時計事業は、売上高は494億円、前年比18.6%の増収、営業利益は43億円、前年比104.7%の増益、営業利益率は8.8%となりました。

工作機械事業は、売上高240億円、前年比31.0%の増収、営業利益は25億円、前年比99.6%の増益となりました。

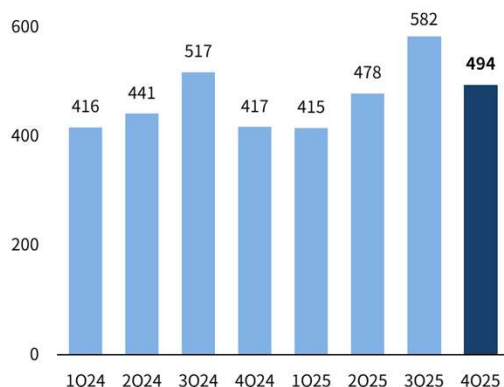
デバイス事業は、売上高161億円、前年比7.0%の増収、営業利益は12億円、前年比13億円増の増益となりました。

第4四半期の3か月間では、全ての事業セグメントが増収増益となりました。

第4四半期（1-3月） 増収増益

- 完成品(シチズン) 国内市場は、インバウンド向けの販売が減少したものの内需は回復基調となり、増収
海外市場は、北米に加え欧州も好調に推移し、増収
- 完成品(ブローバ) 主力の北米で、ブランド創業150周年の販売施策の奏功により各流通が伸長し、増収
- ムーブメント アナログクォーツムーブメントが堅調かつ、機械式ムーブメントも好調が継続し、増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



11

それでは、時計事業の概況をご説明いたします。

売上高は494億円、前年比18.6%の増収、営業利益は43億円、前年比104.7%の増益となりました。

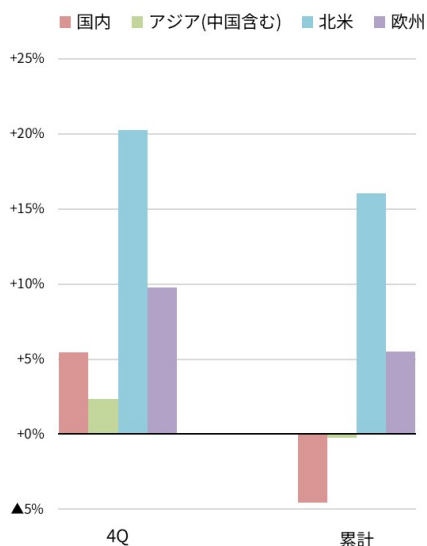
完成品販売のうち、シチズンブランドにつきまして、国内市場は、インバウンド向けの販売が減少した影響を受けましたが、内需は回復基調となり、増収となりました。

海外市場は、グローバルサブブランドの貢献などもあり、欧米が好調に推移し、増収となりました。

ブローバブランドは、ブランド創業150周年関連の販売施策が功を奏し、北米の主要流通である百貨店やジュエリーチェーン流通に加え、自社ECも好調が継続し、増収となりました。

ムーブメントは、アナログクォーツムーブメントが堅調に推移したほか、機械式ムーブメントの好調も継続し、増収となりました。

前年同期比増減率 (現地通貨ベース)



※ 北米のみシチズンブランドとブローバブランドを合算した増減率
その他の地域はシチズンブランドのみの増減率

地域別販売状況 (1-3月)

地域	前年同期比	詳細
国内	【増収】	インバウンド向けの販売が減少するも、『ザ・シチズン』などのプレミアムブランドが堅調かつ、メンズブランドの『アテッサ』が回復傾向。
アジア(中国含む)	【増収】	機械式時計の新製品が牽引し、タイやインドが堅調を維持したほか、台湾や香港が緩やかに復調。
北米	【増収】	シチズンブランド、ブローバブランド共に百貨店や時計専門店などの主力流通が好調かつ、新商品も押し上げに貢献。自社ECでは『アテッサ』の高価格帯モデルなどが伸長し、販売が拡大。
欧州	【増収】	各国で機械式時計の人気が根強く、イタリアやフランスなどが堅調に推移。機械式時計を中心とした宣伝活動も販売に寄与。

こちらは、現地通貨ベースの地域別売上高の伸び率です。
第4四半期の3か月間では、

赤色の国内は、インバウンド向けの販売が減少したものの、『ザ・シチズン』などのプレミアムブランドが堅調に推移したほか、メンズブランドの『アテッサ』が回復傾向となり、増収となりました。

緑色のアジアは、機械式時計の新製品が牽引し、タイやインドが堅調を維持したほか、台湾や香港が緩やかに復調し、増収となりました。

青色の北米は、シチズンブランド、ブローバブランド共に、百貨店や時計専門店向けなど、主力流通が好調に推移したほか、自社ECでは『アテッサ』など、高価格帯モデルが伸長するなど販売拡大が継続し、増収となりました。

紫色の欧州は、各国で機械式時計の人気が根強く、イタリアやフランスなどが堅調に推移し、増収となりました。

エコ・ドライブ誕生50周年 限定モデル発売・プロモーションイベント開催

- 2026年は、シチズンの企業理念「市民に愛され市民に貢献する」を体現するコア・テクノロジー、アナログ式光発電時計（現：エコ・ドライブ）の発売から50周年
- 50周年を記念した「Eco-Drive PHOTON」限定2モデルを発売
- メディアや時計愛好家を招いた記念イベントを2026年3月にニューヨークのグッゲンハイム美術館で開催

Eco-Drive 50

発売日 : 2026年秋予定
モデル : 2モデル
価格 : 希望小売価格 148,500円~178,200円(税込)
限定数量 : 世界限定各5,000本



50周年を記念したイベントを2026年3月にニューヨークのグッゲンハイム美術館で開催

続きまして、時計事業のトピックスです。

2026年は、シチズンのコア・テクノロジーであるアナログ式光発電時計の誕生から50周年の記念すべき年です。

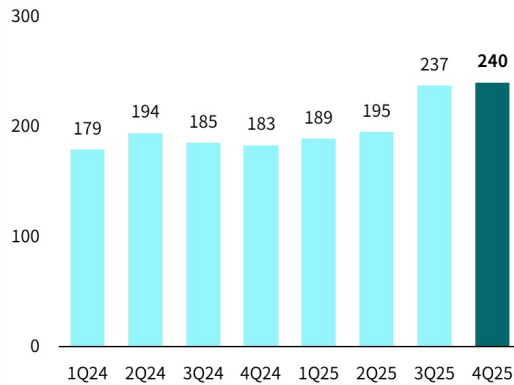
50周年を記念した限定モデル「Eco-Drive PHOTON（エコ・ドライブ フォトン）」を2026年秋に発売いたします。

また、2026年3月には、ニューヨークのグッゲンハイム美術館にて50周年記念イベントを開催いたしました。北米や中南米から世界に影響力を持つメディア各社や時計愛好家などが200名以上来場し、シチズンブランドの基幹技術の価値を改めて印象付けるイベントとなりました。

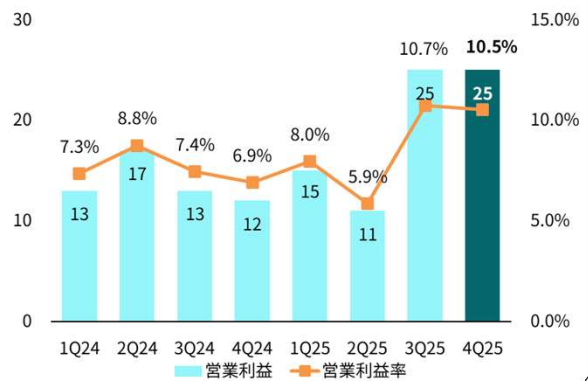
第4四半期（1-3月） 増収増益

- 国内市場 自動車関連が伸び悩みも、市況に緩やかな回復がみられ、増収
- 海外市場 海外市場全体で増収。米州は設備投資への様子見姿勢が和らいだほか医療関連が堅調に推移。欧州は医療関連とジョブショップ向けの堅調に加え、航空機関連なども回復基調。アジアは中国において半導体関連が旺盛な需要を背景に大幅伸長。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



4

続いて工作機械事業です。

売上高は240億円、前年比31.0%の増収、営業利益は25億円、前年比99.6%の増益となりました。

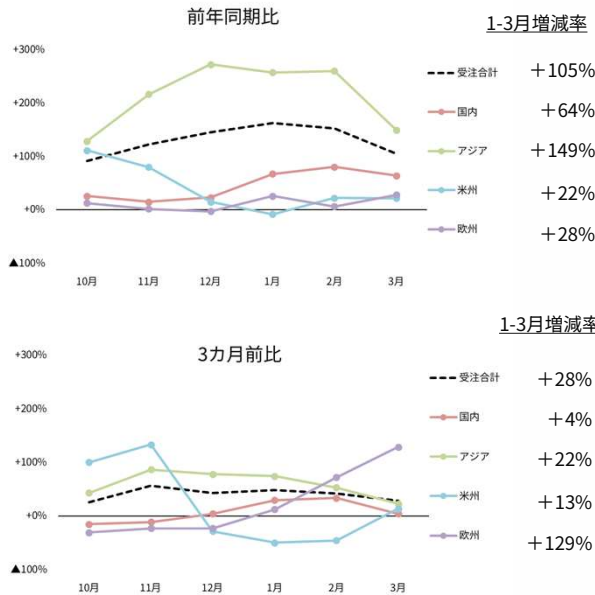
国内は、自動車関連の伸び悩みが継続しているものの、市況に緩やかな回復が見られ、増収となりました。

海外につきましては、米州は設備投資への様子見姿勢がやわらいだほか、医療関連の販売が堅調に推移しました。

欧州は医療関連やジョブショップ向けの販売が堅調に推移したほか、アジアは中国において半導体関連が旺盛な需要を背景に大きく販売を伸ばし、海外市場全体で、増収となりました。

営業利益につきましては、増収による押し上げにより、増益となっております。

受注台数（3カ月移動平均）増減率の推移



地域別受注状況（1-3月）

地域	詳細
国内	自動車関連は先行きが不透明ながらも緩やかな回復基調。半導体関連も増加傾向。
アジア (中国含む)	中国はプローブピン加工用などの半導体関連が好調継続。その他アジアもデータセンター向けなどの受注が増加。
米州	9月の値上げ前の駆け込み需要の反動が一巡。医療関連の堅調維持に加え、ジョブショップ向けが回復傾向。
欧州	自動車関連が軟調。ドイツやフランスなどが設備投資に消極的だが、他地域では緩やかな回復が見られる。

こちらは、地域別の受注状況です。折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均の前年同期比と3カ月前比の増減率の推移です。

スライドの右側は、第4四半期の受注の状況です。地域別にみますと、

国内は、自動車関連は先行きが不透明ではあるものの、緩やかな回復基調が見られたほか、半導体関連の受注も増加傾向となりました。

アジアでは、中国においてプローブピン加工用などの半導体関連の好調が続いていることに加え、その他のアジアにおいてもデータセンター向けの受注が増えました。

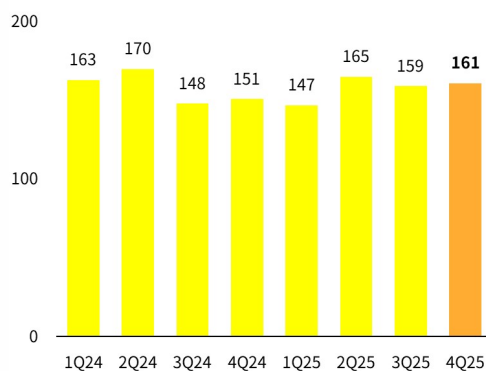
米州は、9月の値上げ前の駆け込み需要の反動減が一巡し、医療関連が堅調に推移しているほか、ジョブショップ向けの受注が回復傾向となりました。

欧州は、自動車関連が軟調で、ドイツなどを中心に設備投資に消極的な姿勢が続いておりますが、他地域では緩やかな回復が見られました。

第4四半期（1-3月） 増収増益

- 自動車部品 市場の回復が限定的なものに留まり、前年並み
- 小型モーター 顧客の在庫調整が一巡したほか、緩やかながらも復調し、増収
- セラミックス 光通信向けなどのサブマウント製品の好調が継続し、増収
- プリンター フォトプリンターが安定した需要を背景に販売を伸ばし、増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



16

最後に、デバイス事業です。

売上高は161億円、営業利益は12億円となり増収増益となりました。

自動車部品は、市場の回復が限定的なものに留まり、前年並みとなりました。

小型モーターは、顧客の在庫調整が一巡するなど緩やかながらも復調し、増収となりました。

セラミックスは、光通信向けなどのサブマウント製品の好調が継続し、増収となりました。

プリンターは、フォトプリンターが安定した需要を背景に販売を伸ばし、増収となりました。

2026年度上期及び通期連結業績予想

続いて、2026年度業績予想についてご説明いたします。

2026年度通期業績予想

- 連結で「中期経営計画2027」の目標である売上高と営業利益率を1年前倒して達成の見込み
- 時計事業は、主力の北米を中心に好調が継続
- 工作機械事業は、需要の高まりを受け、大幅な増益

2026年度配当予想

- 2025年度より開始の「中期経営計画2027」の株主還元方針に沿い
前期比3円増配とし一株あたり50円とする予定
- 年間配当金 50円（中間 25円00銭 / 期末 25円00銭）
＜参考＞ 2025年度 年間配当予定 47円（中間 23円50銭 / 期末 23円50銭）

業績予想のポイントはこちらのスライドの通りとなります。

2026年度は、連結で「中期経営計画2027」の目標値である、売上高と営業利益率を1年前倒して達成の見込みです。

時計事業は、構成比の高い北米での販売好調が継続し、増収増益を見込んでいるほか、工作機械事業は、需要の高まりを受けて大幅な増益を見込んでおり、2026年度の連結業績に大きく貢献すると見ております。

年間配当金の予想につきましては、中期経営計画の方針に従いまして、前期比で3円増配とし、一株あたり50円といたしました。

2026年度 通期連結業績予想

(単位：億円)	2025年度 実績		2026年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,592	3,468	1,755	3,620	+162	+151	+10.2%	+4.4%
営業利益	129	302	165	345	+35	+42	+27.1%	+14.0%
営業利益率	8.2%	8.7%	9.4%	9.5%	-	-	-	-
経常利益	161	384	175	375	+13	▲9	+8.0%	▲2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	118	311	130	275	+11	▲36	+9.4%	▲11.6%
為替レート	¥146/USD ¥167/EUR	¥150/USD ¥174/EUR	¥150/USD ¥175/EUR	¥150/USD ¥175/EUR				

為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+8.0億円	+2.7億円
営業利益	+2.3億円	+1.5億円

19

2026年度通期の連結業績予想でございますが、

売上高は前年比151億円増の3,620億円、

営業利益は前年比42億円増の345億円、

経常利益は375億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比36億円減の275億円としております。

なお、業績予想の予想為替レートはUSドル150円、ユーロ175円としています。

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2025年度 実績		2026年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
時計事業	893	1,970	940	2,010	+46	+39	+5.2%	+2.0%
工作機械事業	385	862	475	950	+89	+87	+23.3%	+10.1%
デバイス事業	313	634	340	660	+26	+25	+8.5%	+4.0%
合計	1,592	3,468	1,755	3,620	+162	+151	+10.2%	+4.4%
営業利益								
時計事業	117 (13.2%)	250 (12.7%)	118 (12.6%)	255 (12.7%)	+0	+4	+0.3%	+1.7%
工作機械事業	26 (6.9%)	77 (9.0%)	57 (12.0%)	115 (12.1%)	+30	+37	+114.5%	+48.7%
デバイス事業	16 (5.2%)	37 (5.9%)	22 (6.5%)	40 (6.1%)	+5	+2	+36.2%	+6.2%
消去又は全社	▲30	▲63	▲32	▲65	▲1	▲1	-	-
合計	129 (8.2%)	302 (8.7%)	165 (9.4%)	345 (9.5%)	+35	+42	+27.1%	+14.0%

20

セグメント別の業績予想です。

時計事業は、主力の北米を中心に販売好調を維持し、売上高は前年比39億円増の2,010億円、営業利益は255億円と増収増益を見込んでおります。

工作機械事業は、2025年度後半から需要が強まっていることを受け、売上高は前年比87億円増の950億円、営業利益は115億円と増収増益を見込んでおります。

デバイス事業は、好調なプリンターやセラミックスが引き続き堅調に推移すると見ており、売上高は660億円、営業利益は40億円と増収増益を見込んでおります。

「中期経営計画2027」進捗状況

最後に「中期経営計画2027」の進捗状況についてご報告いたします。

「中期経営計画2027」進捗状況
連結業績推移

CITIZEN

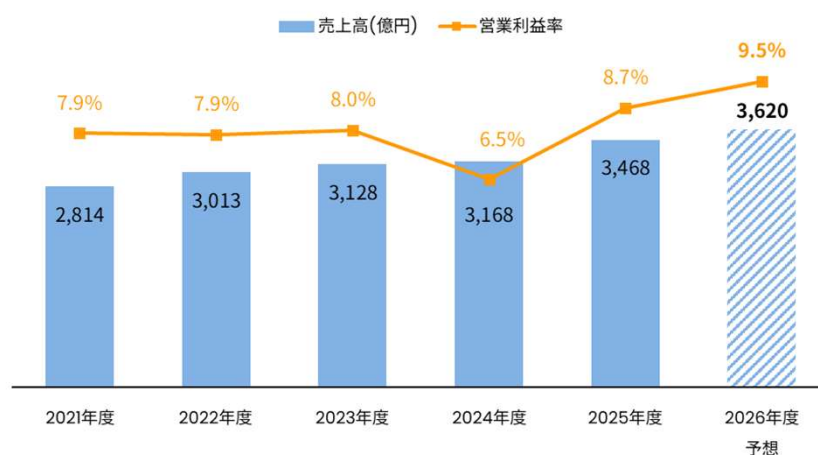
中期経営計画 目標

売上高 3,600 億円

営業利益率 9.0 %

進捗状況

- 2026年度連結業績予想では、中期経営計画目標である売上高と営業利益率を1年前倒して達成見込み



22

こちらは連結全体の業績推移となっております。

中期経営計画の初年度である2025年度は、3つの事業セグメントいずれも増収増益となり、売上高の増加に加え、収益性も改善することができました。

また、2026年度連結業績予想では、中期経営計画目標である、売上高3,600億円と営業利益率9.0%を1年前倒して達成を見込んでおります。

「中期経営計画2027」進捗状況
時計事業 業績推移

CITIZEN

中期経営計画 目標

売上高 1,900 億円

営業利益率 12.0 %

進捗状況

- 2025年度に売上高、営業利益率ともに2年前倒しで中期経営計画目標を達成
- 2026年度以降も掲げた戦略を実行することでさらなる成長を見込む



23

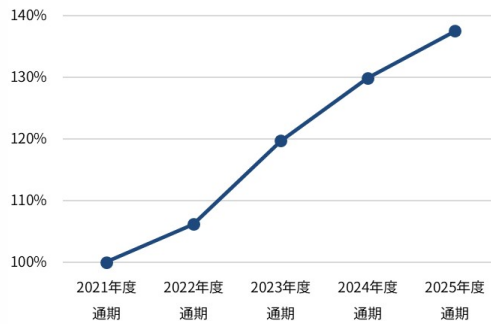
続いて、時計事業の業績推移です。

コロナ禍以降、着実に回復を遂げており、2025年度は「中期経営計画2027」における目標を2年前倒しで達成いたしました。

掲げている戦略を着実に実行していくことで2026年度も増収増益を見込んでおり、今後も継続して成長できると考えております。

国内販売単価増加率

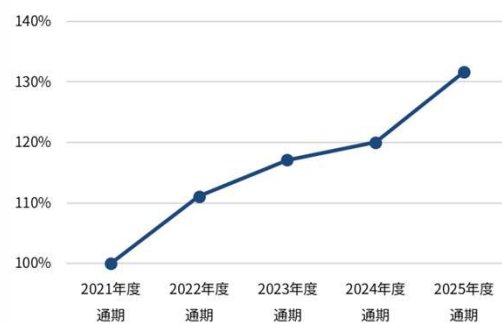
2021年度比：+38%上昇



※ 2021年度を基準とした国内のシチズンブランドの販売単価増加率

北米販売単価増加率（現地通貨ベース）

2021年度比：+32%上昇



※ 2021年度を基準とした北米のシチズン及びブローバブランドの販売単価増加率(現地通貨ベース)

次に、主要2地域の販売単価の推移をご説明いたします。

国内では、『アテッサ』や『クロスシー』などの中価格帯の製品ミックス改善が進んだことに加え、『ザ・シチズン』などのプレミアムブランドも貢献し、販売単価は2021年度比で38%上昇しました。

北米では、『アテッサ』や『シリーズエイト』など、従来よりも販売単価の高い、1,500から3,000ドルのサブブランドの販売拡大が進んだシチズンブランドに加え、ブランド創業150周年を迎えたブローバブランドも、より付加価値の高い製品の導入が進むなどし、2021年度比で現地通貨ベースで32%の単価上昇となりました。

シチズンブランドの提供価値向上

- 新たに『アテッサ』をグローバル展開し、5つのグローバルサブブランドのうち4ブランドを展開中
- 他製品の好調などを受け、2025年度のグローバルサブブランド比率は26%※（中期経営計画目標：35%）
- 各ブランドの役割を明確にし、戦略的な展開を進めることで前年同期比で着実に販売が伸長

※ シチズンブランド全体に占める売上比率

 PROMASTER



- ✓ プロフェッショナルスポーツウォッチブランドとして堅調を維持
- ✓ 陸・海・空コンセプトの新型モデルが牽引

CITIZEN *L*



- ✓ レディースウォッチブランドとして順調に成長
- ✓ ジュエリーライクな新作「RAINELL」など、市場の反応は良好

Series 8



- ✓ 機械式時計の本質を現代的に再解釈した世界観を展開
- ✓ 2025年度は北米において売上が拡大

ATTESA



- ✓ 2025年度より本格的にグローバル展開開始
- ✓ 北米では自社EC中心に高付加価値モデルが好調

重点戦略の1つである「グローバル戦略によるブランド提供価値向上」についてご説明いたします。

各グローバルサブブランドの役割を明確にし、戦略的な展開を進めることで、前年同期比で着実に販売を伸ばすことができました。

引き続き、シチズンブランドの提供価値向上に努めてまいります。

流通戦略と製品ミックス改善の推進

- シチズンブランド グローバルサブブランドである『プロマスター』『シチズンエル』が堅調に推移
2025年度から本格展開した高価格帯モデルの『アテッサ』も好調
- ブローバブランド ヒスパニック系ユーザー向けに商品開発や宣伝訴求を実施
需要が拡大する機械式時計にも注力するなど、2025年度実績は前年比で大幅増
- 直販ECサイト 2025年度の北米直販ECサイト売上高比率は10%強*まで向上（2027年度目標：12%）

* 北米市場全体に占めるシチズンブランドと
ブローバブランド合わせた売上比率

CITIZEN



2025年度よりグローバル展開がスタートしたアテッサ

BULOVA



市場が拡大する機械式時計の強化



US \$ 1,500以上の高付加価値商品の導入

26

続いて、重点戦略である「北米市場でのさらなる取り組み強化」についてです。

シチズンブランドは、2025年度から本格展開した『アテッサ』の高価格帯モデルが好調な出だしとなっており、今後にも期待できる状況となっております。

ブローバブランドは、ヒスパニック系ユーザー向けのさらなる拡販や、需要が拡大する機械式時計にも注力するなど、2025年度は前年比で大幅増とすることができました。

また、2025年度の北米全体売上高に占める自社ECサイト比率は、10%強まで向上しました。目標としている12%に向けて、引き続き拡大を進めていきます。

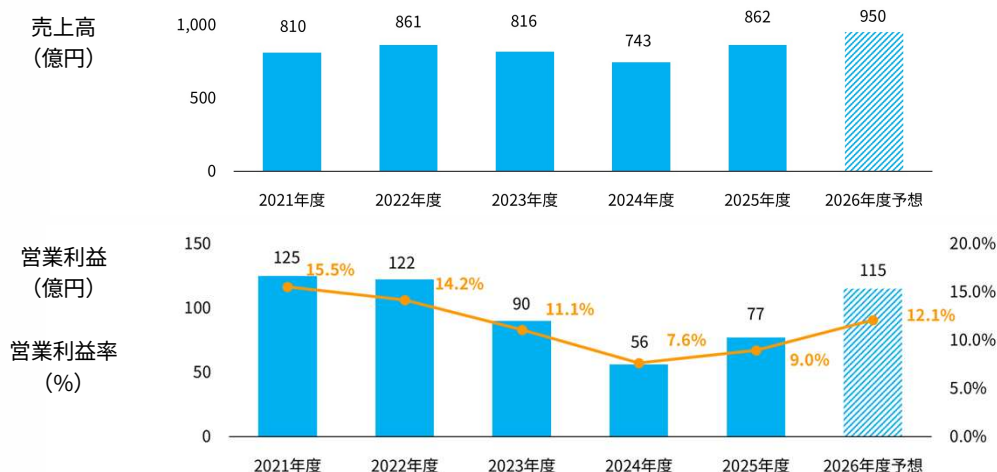
中期経営計画 目標

売上高 1,000 億円

営業利益率 15.0 %

進捗状況

- 中国を中心としたアジア向けの受注増を受け、2025年度比では増収増益となる見込み
- 中期経営計画目標に対しては先進国向け需要のさらなる回復を期待



工作機械事業の業績推移です。

設備投資の循環サイクルの影響を受けて苦戦した2024年度に底を打ち、2025年度は回復基調に転じて、売上高862億円となりました。

受注状況を見ると、2025年度後半から中国を中心としたアジア向けの半導体関連の需要が高まっており、2026年度の業績予想は増収増益となると見込んでいるものの、中期経営計画の目標に対しては、先進国の向けの需要のさらなる回復が期待されます。

インドに販売会社を設立

- インドは自動車関連や医療分野を中心に工作機械の需要拡大が継続、中長期的に堅調な市場成長を見込む
- 資本金10億円のインド現地法人を設立し、現在の約2倍となる年間400台の販売体制の構築を目指す
- 機械本体やスペアパーツ在庫備蓄など、販売・サービス機能を強化し、顧客対応力と提案力向上を図る



会社名 : CITIZEN MACHINERY (INDIA) PVT. LTD. (予定)
設立予定 : 2026年10月
資本金 : 6億インドルピー (約10億円)

28

重点戦略の1つである「売上高1,000億円に向けた地域別戦略」についてです。

中長期的に高い成長が期待されるインド市場は、当社工作機械事業においても重要な市場と位置づけております。

同市場では、自動車関連や医療分野を中心に工作機械需要の拡大が続いており、さらなる事業拡大に向けて、現地販売会社を設立いたします。

目標は、現在の約2倍となる年間400台の販売体制の構築です。

現地での販売・サービス機能を強化し、顧客対応力と提案力の向上を図ることで、同市場での事業基盤を強化してまいります。

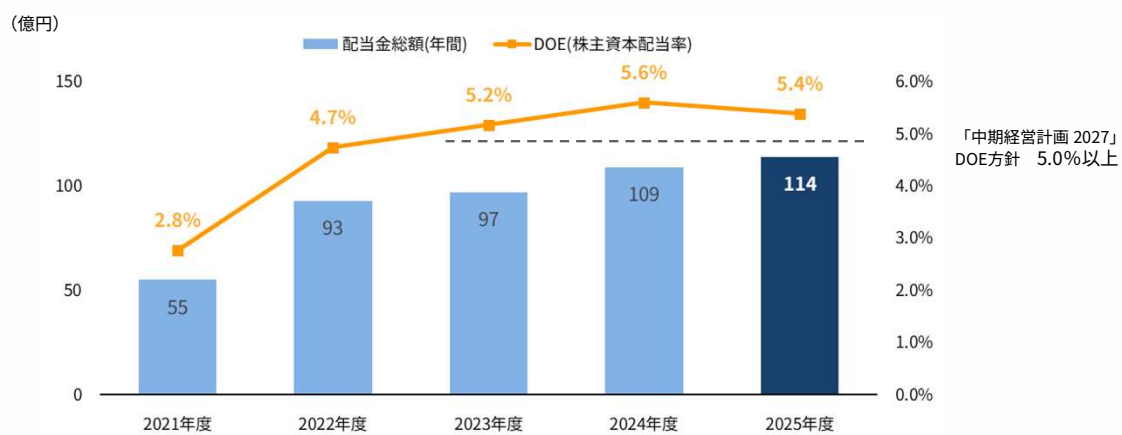
Appendix



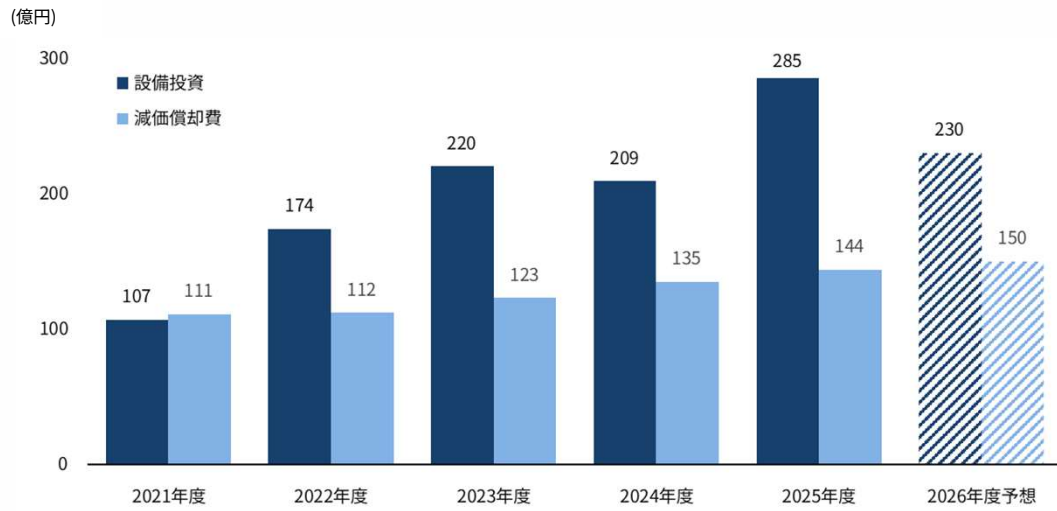
株主還元方針（2025-2027年度）

- DOE（株主資本配当率）※5.0%以上を目安
- これまでの配当実績を考慮し、より安定的かつ継続的な配当を重視
- 自己株式の取得は、業績、資本構成、投資計画、株価を含む市場環境等を考慮し、状況に応じて機動的に判断

※DOE = “配当金総額” / “株主資本(期首残高と期末残高の平均値)”



- 「中期経営計画 2027」に基づき時計事業の成長合理化投資に注力する方針
- 投資配分イメージ コア事業である時計事業と工作機械事業が7割以上となる予定



完成品

CITIZEN



BULOVA



FREDERIQUE CONSTANT
GENEVE



ブランド価値向上による
事業成長と収益力強化

ムーブメント

MIYOTA



MLP Manufacture
LA JOUX-PERRET





CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

以上となります。